

主要都市の空間線量率の測定結果

【世界】



【日本】



パリは2017年10月15日、ロンドンは2018年1月24日、ニューヨークは2019年1月18日、台北は同年1月21日、北京、ソウル、会津若松市、南相馬市、いわき市は同年9月24日、シンガポールは同年9月26日、ベルリン、香港は同年9月27日、その他の地点は同年9月18日時点の数値

出典：日本政府観光局（<https://www.japan.travel/en/news/post-2011-3-11-general-information/>、2021年12月時点）より作成

この図では、世界及び日本の主要都市の空間線量率の測定結果を示しています。図に示した都市の放射線量はおよそ $0.03 \mu\text{Sv}/\text{h}$ から $0.14 \mu\text{Sv}/\text{h}$ となっており、放射線量は地域によって異なることが分かります。これは、主に大地の土壌や岩石の違い等により大地からの放射線量が異なるからです。

福島県内の4自治体の空間線量率は、東京電力福島第一原子力発電所の事故後、時間の経過とともに大幅に低下し、国内外の主要都市と変わらない程度になっています。

本資料への収録日：2019年3月31日

改訂日：2022年3月31日